

川崎市と小田急の「小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン」連携施策！
5月1日、麻生区内で自治会・町内会 SNS「いちのいち」実証実験を開始
～自治会運営にDXを取り入れ、地域コミュニティ活性化と持続性を高めます～

川崎市と小田急電鉄株式会社は、昨年3月に公表した「小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン」に基づき、沿線の価値向上に向け連携し、様々な取組を推進しています。

このたび、地域のデジタル化推進に向け、本年5月1日から10月31日まで、自治会・町内会 SNS「いちのいち」の導入に関する実証実験を行います。

「いちのいち」とは、自治会・町内会（地縁団体）が抱える役員の担い手不足や効率的な運営、若年層を中心とした地域とのつながりの希薄化、高齢者の社会的孤立などの地域課題を住民主体で解決していくことにお役立ていただける小田急電鉄によるソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）です。地縁団体に特化した会員間のコミュニケーションツールと、会長など運営者による会員管理を通じて、情報の信頼性や会員相互の安心感を高めていることが特徴です。

【実証実験概要】

- 1 実証期間 令和4年5月1日（日）～10月31日（月）（予定）
- 2 対象町会 麻生区内にてお申込みいただいた5町会「金程町会」「細山町会」
「新百合ヶ丘駅南町内会」「栗平白鳥自治会」「北イトーピア自治会」
- 3 実証内容 ・「いちのいち」の基本機能の活用
（自治会町内会の効率的な運営、住民間の情報共有）
・「災害時掲示板（有料機能）」機能を用いた災害訓練の実施（予定）
※ 上記については予定であり、今後変更となる可能性があります。
※ 実施期間満了後は、御参加いただいた方へのアンケートにより有効性を検証し、今後の取扱いについて検討してまいります。

実証実験後半において行政からの情報発信を検討していくなど、地域資源を活かした豊かなまちづくりを官民連携して取り組んでまいります。



いちのいち